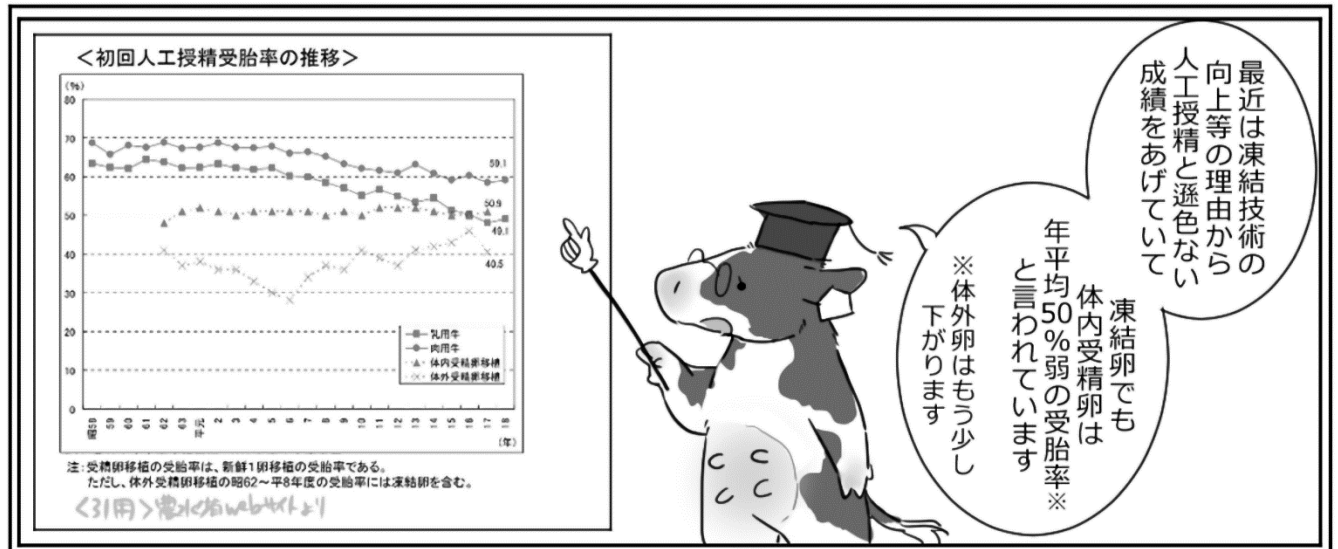
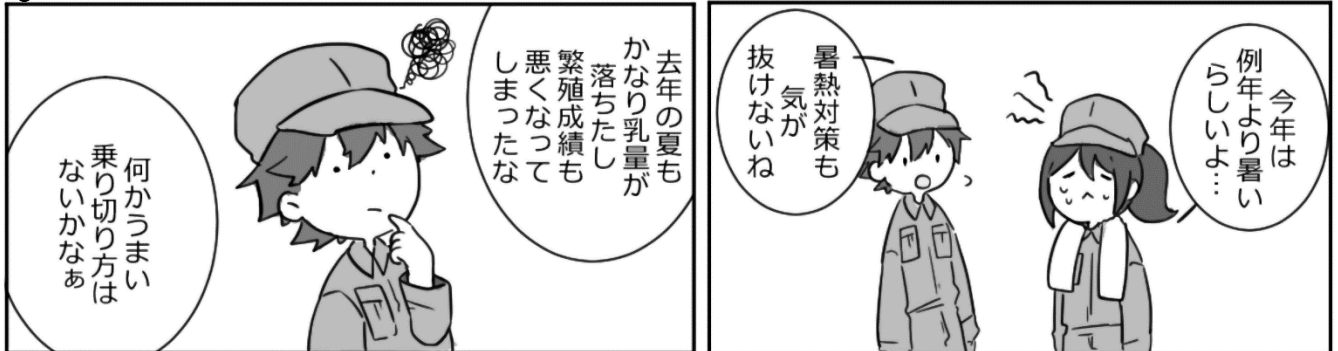


夏場こそ、受精卵移植？



受精0日

これは
新鮮卵移植でも
凍結卵移植でも
同様です

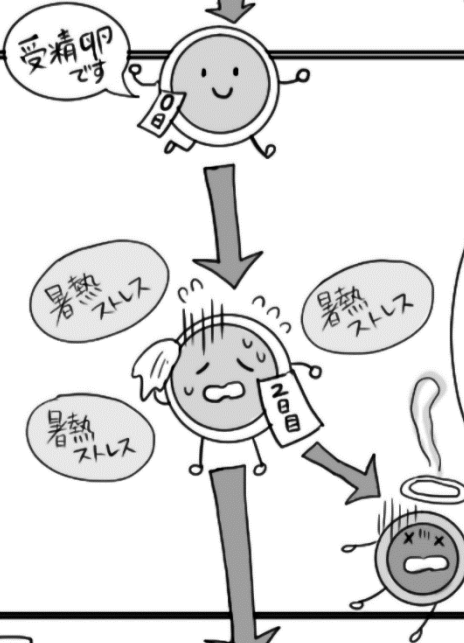


受精卵とは
精子と卵子がくっついて
1つだった細胞が
分裂していき多細胞に
なったものです

通常移植する時の
受精卵は受精から
7日程度
育ったものを
使用します

受精から数日間...

この暑熱ストレスで
受精卵は死滅や変性する
ことが多くなりますが



実はこの
「7日」
というのが
重要で

受精卵は
受精から数日の期間
(初期胚といいます)までが
最も暑熱ストレスを
受けやすい
と言われています

受精7日目...

あとは子宮に着床し
生育してくれるか
という問題になる
ということです



つまり受精卵移植は
受精卵の生育過程の中で
暑熱ストレスの影響を
受けやすい時期を
ある程度バイパスする
ことができるので

世の中に
流通している
受精卵はこの期間を
もつすでに
やりすごしてきた
卵たちです



今日は
よしずの設置と
屋根散水をし
てこようか!



だからこの時期に
受精卵かあ...とはいえ
妊娠が確定しても
母牛達には
快適に過ごして
もらわないとね

神奈川県湘南家畜保健衛生所

〒259-1215 平塚市寺田縄 345

TEL 0463-58-0152 FAX 0463-58-5679